

# FireSIGHT システムの各種ハードウェア モデルでサポートされている機能

## 内容

### [概要](#)

### [FireSIGHT システムでサポートされる機能](#)

### [関連記事](#)

## 概要

ハードウェア モデルによって、FireSIGHT システム上で有効にできる機能が異なります。このドキュメントでは、Cisco FireSIGHT システムのさまざまなハードウェア モデルでサポートされる機能の概要を示します。

注：機能を有効にするには、FireSIGHT Management Center ( 防御センターまたは DC と呼ばれる ) 上で機能ライセンスを追加してから、それを管理対象デバイスに適用する必要があります。ライセンスを管理対象デバイス上でローカルにインストールする必要はありません。

## FireSIGHT システムでサポートされる機能

アプライアンス	モデル	FireSIGHT
	DC750、DC1500、DC3500 ( シリーズ 3 防御センター )	DC750 : 2000 ユーザ DC1500 : 50,000 ユーザ DC3500 : 300,000 ユーザ
管理アプライアンス	DC1000、DC3000 ( シリーズ 2 防御センター )	DC1000 : 20,000 ユーザ DC3000 : 100,000 ユーザ
	DC500 ( シリーズ 2 防御センター ) 仮想防御センター 3D7000シリーズ、 3D8000 シリーズ ( FirePOWER デバイス )	DC500 : 1,000 ユーザ DC500 は、FireSIGHT ライセンスを備えた管理対象デバイス の機能はサポートしません。 仮想防御センター モデルは、これらの機能のいずれか
管理対象デバイス	3D500、3D1000、3D2000 3D2100、3D2500、3D3500 3D4500、3D6500、3D9900  ( シリーズ 2 デバイス ) 仮想デバイス	FireSIGHT ライセンスは防御センターの購入に含まれて すべての管理アプライアンスが、管理対象デバイス モ およびユーザの検出を実行する能力を備えています。  FireSIGHT ライセンスの制限は DC モデルによって異 な ( 注 ) を参照してください。

注：レガシー RNA および RUA 機能ライセンスは、DC500、DC1000、および DC3000 モ

デルでサポートされます。ただし、FireSIGHT Management Center のハードウェア機能に適用されたユーザ制限を超えないようにすることをお勧めします。

## 関連記事